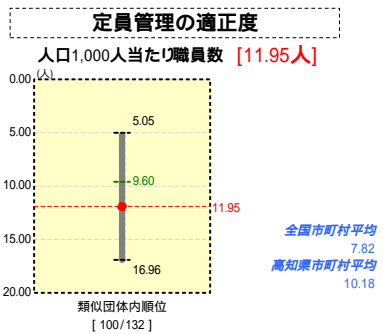
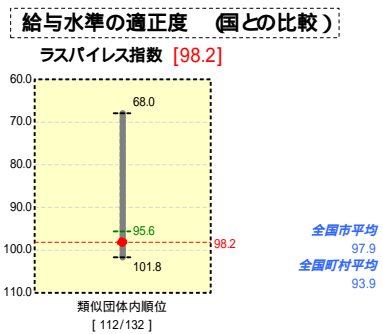
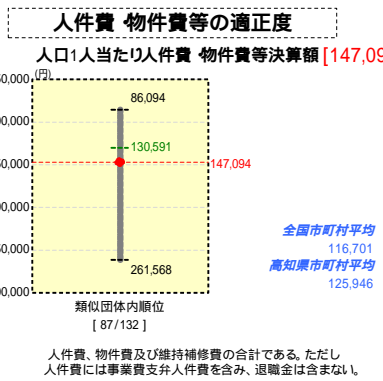
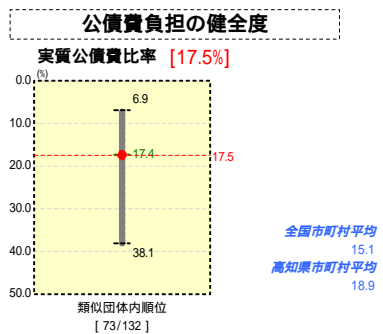
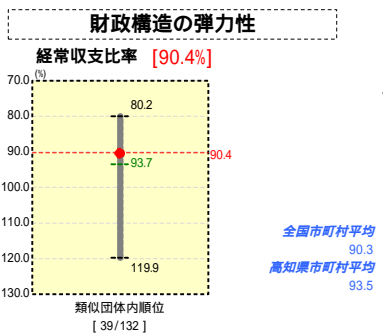
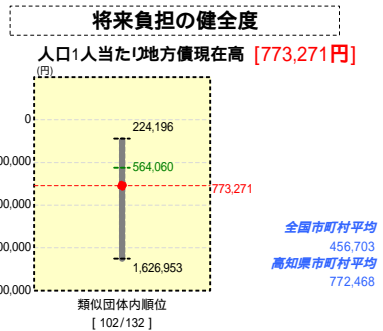
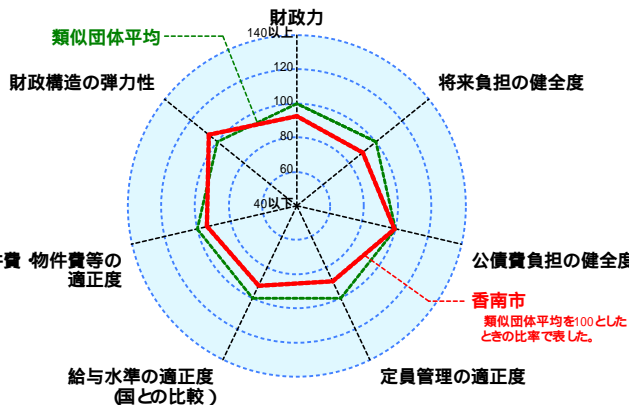
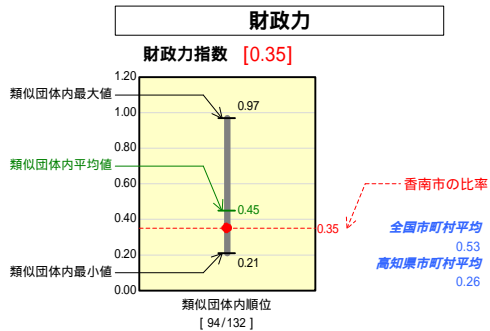


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 高知県 香南市

人口	34,138	人(H19.3.31現在)
面積	126.49	km <sup>2</sup>
歳入総額	16,506,693	千円
歳出総額	15,994,960	千円
実質収支	361,138	千円



### 分析補

【財政力指数】依然効果的な増収は望みにくく、また市制施行による生活保護費など新たに経常経費も増加となっている。適正な定員管理や補助費等の見直しといった経常経費節減、中期財政計画に基づく事業の精査等により投資的経費を抑制するなど、歳出の見直しを行っていくとともに、地方税の徴収業務の強化など歳入確保に努める。

【経常収支比率】市町村合併による4町村の4役及び議員定数の減少により大幅に人件費が減少したことなどから、対前年度5.8%減の90.4%となった。しかし、今後、生活保護費等扶助費の増加、公債費の伸びが予想されるため、適正な定員管理や補助費等の見直し、高金利地方債の繰上償還の実施など経常経費の削減に努める。

【実質公債費比率】合併前に旧団体で実施した地域改善対策事業や普通建設事業費に係る地方債償還等に併い上昇し、類似団体平均を上回る17.5%となっている。地方債償還のピーク予定がH21～23年頃であること、また特別会計への公債費分繰出金や一部事務組合への公債費負担金の増加見込みなどから、今後も数値の上昇が想定されるため、大型事業が予定されているものの新規発行の抑制に努め償還額とのバランスをとりながら公債費の適正な管理を行うとともに、高金利債の償換えや繰上償還を行うなど、財政の健全化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】合併以前に旧団体で実施してきた地域改善対策事業や団体のための施設整備事業、また合併に伴う準備事業としての合併推進事業などにより地方債の発行額が増加してきたため、類似団体平均・県内市町村平均とも上回る数値となっている。今後も亦同市民館改築・香南ケーブルテレビ高度化事業といった大型事業が予定されており、新規の地方債発行が見込まれているため、他事業における新規発行の抑制や繰上償還の実施など財政の健全化に努める。

【人口1人あたり人件費 物件費等決算額】市町村合併に伴う準備経費減少による物件費の減などから前年度比7.6%となつてはいるが、類似団体平均、県内市町村平均よりも上回る数値となっている。これは、合併に伴い消防組合や学校組合、給食センター組合などの業務が一部事務組合から市に統合となったことなどから、類似団体平均を上回っていると考えられる。今後は、物件費の削減、適正な定員管理による人件費削減など、これらの経費抑制に努めていく。

【ラスパイレズ指数】市町村合併より、旧所屬この職員間の格差調整を行うなかでラスパイレズ指数が上昇したと考えられる。今後は、給与体系の見直しを含めた給与の適正化を図り、定員適正化計画による職員数の削減と併せて人件費の縮減に努める。

【人口1000人あたり職員数】市町村合併前のそれぞれの団体の実情により類似団体平均を超える職員数となつている。現在、集中改革プランによる定員適正化計画に基づき、H17～22年までの5年間で純減目標を全職員ベースで8%とする人員削減に取り組んでいる。保育士・幼稚園教諭は微増、消防士については現状維持、技能労働者の退職不補充、一般行政職は退職者3名につき採用は1名としている。また、旧町村に配置している支所職員数の見直し等も合わせて適正化計画に沿った人員削減を進めている。